

かわにし

広報かわにし

No.530

平成14年10月10日

しばい
演劇でつながる
ネット
全国かわにし



特集 かわにし交流 新たな時代へ…2
「エネルギー」と「地球環境」…6
真剣に考えよう合併について…12

人口の動き

—10月1日現在—

男	4,038 (±0)
女	4,126 (－4)
計	8,164 (－4)
世帯数	2,283 (－2)

() は前月比較

特集 かわにし交流 新たな時代へ

「川西」の名称を持つ自治体同士の交流が続いていますが、このほど、奈良県川西町の町民劇団「コスモス」の皆さんをお迎えして、同劇団のオリジナル演劇『ぼたん雪』が川西中学校体育館で上演されました。

公演は大成功のうちに終わりましたが、こうした事業をスムーズに行うためには、出演者はもちろん、裏を支えるスタッフの役割がとても重要です。そんな動きを中心に、今回の催しを追ってみました。



「ぼたん雪」 三回目は新潟で

今回の公演が決まった背景には、平成十一年七月に新潟県川西町(以下「新潟川西」という)のスーパー素人劇団「かわにし夢きやらばん」が、奈良県川西町(以下「奈良川西」という)を訪問して、オリジナル作品『大祝言』を上演したということがあります。完成間もない同町の文化会館「コスモスホール」では、ホールの運営を支えるボランティアスタッフの育成中で、町民劇団もその頃に生まれました。

その後、二作品を制作・公演する過程でノウハウと人材を蓄積して、今回の出張・交流公演が実現の運びとなりました。

今回上演された『ぼたん雪』は、昭和三十年代の奈良県川西村(当時)の大手の貝ボタン工場を舞台に展開される人間模様を描いたオリジナルで、今年三月と九月の奈良川西での公演を経て、新潟川西での公演は、同作品の三回目の上演となりました。

新潟川西でも、平成十一年に奈良川西が迎え入れてくださったことをきっかけに、その後も活動や交流が充実していることから、それらの恩返しも兼ねて実行委員会を組織して迎える体制をつくりました。

六月二十日に第一回実行委員会を立ち上げ、会長には、「かわにし夢きやらばん」代表の関口昌生さんが選ばれました。



それから九月十五日の公演日までの間に、計六回の実行委員会を開催して受け入れ準備を進めました。また、その間、七月一日には、奈良川西のスタッフが見学に来た、公演会場の川西中学校体育館や宿舍の大けやきの宿の使い勝手の確認や、公演時の調整事項などについて細かに打ち合わせを行いました。

公演準備では、張り出しステージを含めた舞台づくり、会場づくりのほか、音響設備の設置運営、照明機材の設置運営などが大きなウエイトを占めます。

これらは「かわにし夢きやらばん」の演劇でも同じですが、こうした機材の運搬・設置には大変な労力を必要とします。特に今回の公演では、それらのほとんどを奈良川西から運搬してきたため、奈良川西、新潟川西総出の搬入搬出作業となりました。

二隊に分かれて到着

公演二日前の九月十三日夕

方、トラック二台とワゴン車二台に分乗した二十人の先発隊が川西中学校に到着、ささやかな歓迎セレモニーの後、機材の搬入作業を行いました。



13日夕方到着した先発隊を迎えるセレモニー

翌十四日の早朝、大型バスが大けやきの宿に到着。本隊の二十四人が、夜通し走ってきた疲れもみせず元気な姿を見せました。ここで簡単なセレモニーと朝食をとった後、公演準備の作業に入りました。「仕込み」といいます。

仕込みでは、まず、中学校体育館のステージ前に張り出し部分を設置。平行して控室の設置や大道具の組立、続いて照明の

吊り込みや音響の設置など、会場は戦場のようなあわただしさが続きます。しかし、それは無秩序なものではなく、各担当部署ごとに順を追って作業を進めているため、時を追って整理が進み、午後には、ほぼおまかな形が出来上がりました。

連携がものをいう

これらは、奈良川西のボランティアスタッフの「制作」、「音響」、「照明」の各担当に分かれてそれぞれの分野を責任を持って受け持ち、そこに新潟川西のスタッフが補助要員として入るといって体制で動いたことが、うまく機能した要因のようでした。



奈良川西のボランティアスタッフは、劇団員ではなく、同町の文化会館「コスモスホール」を運営するための専門スタッフで、舞台、制作、音響、照明の各担当が、それぞれの分野を受け持っています。そして、受け持ち分野ではプロ級の知識と技術を持ち、演劇に限らず、

コンサートや発表会、講演会などの催しを陰で支えています。そのため、劇団員（役者）は安心して芝居づくりに専念することが出来ます。

「やられたあ」でボランティアに

奈良川西のボランティアスタッフの皆さんの声を拾ってみました。

岡幸子さん（舞台担当）



主婦です。ボランティアになって四年目になります。最初は何か何だかよくわからなかったのですが、研修を受けて、舞台運営の流れがようやく呑み込めてきました。

町民劇団のお手伝いは二年目になります。昨年はお手伝い程度だったんですが、今回はいろいろと任せられました。こちらは、コスモスホールと勝手が違うので大変だと思っていましたが、何とかできました（笑）。

新潟は初めてなんですけど、お米もおつゆもおいしいですね。たくさん食べられます（笑）。

松村好高さん（制作担当）

主に、舞台の道具具作りを手伝っています。役場の職員です。



最初は、公民館の「木工教室」の受講生でした。それが、いつの間にかホールのボランティアスタッフになっていました。「やられたあ」、ちゅう感じですねん（笑）。

木工教室の受講生も、習った技を試してみられるので、いい経験になってますわ。張り合いがありますね。

新潟川西の皆さんも、ぜひ、もう一度奈良に来てください。太道具は任してくださいます（笑）。

北岡真理さん（音響担当）



コスモスホール立ち上げの頃からお手伝いしています（英会話教室講師）。音楽と「音」が好きなので、迷わずこちらの担当を希望しました。

コスモスホールでは、ピアノの発表会やコンサートなどで月に三〜四回お手伝いしています。こちらは初めてですが、両親が富山出身なので、日本海側の風景はなつかしい感じがします。新潟のスタッフの方には、交流の範囲を越えていろいろ手伝ってもらっています。

今（本番前）ですか？ 大変緊張しています（笑）。

竹村さつきさん（照明担当）



ピンスポットライトを操作する竹村さん

コスモスホールがオープンする一年前（平成八年）から関わっています。夫と二人で参加しています。

オーブン当初は、三か月くらいプロが常駐しての集中講習がありました。今は、年に四〜五回の講習ペースです。

ボランティアで参加する頻度はかなり高いですが、その分、自分の演奏会（琴の教室運営）の時には、みんなが手伝ってくれるのでお互い様です（笑）。

久保厚子さん（照明担当）



私は六年前にボランティアスタッフの仲間入りをしました。

明かりはきれいなので、こちらを選びました。本当は、音響は難しいから無理だと思ったんですけど（笑）。

こういう演劇の照明プランづくりは難しくてもまだできませんが、講演会くらいのもものは、やらせていただいています。

こうしたボランティアスタッフのてきぱきとした動きに支えられて、前日の準備やリハーサルは滞りなく済みしました。夕食は、新潟川西のスタッフ手づくりのコシヒカリのおにぎりといけんちん汁で、奈良の皆さんも、魚沼のコシヒカリの味に満足した様子でした。



大海を見ることができたか

十五日、本番の日を迎えました。この日は、朝から本番と全く同じ形で、通しのリハーサル「ゲネプロ」といいます）を行いました。

ゲネプロでは、出演者の衣装や演技はもちろん、照明や音響の調子、舞台の仕上がり具合など、あらゆる点をチェックします。そして、そこで問題となった部分を丹念に確認・指導「ダメ出し」といいます）して本番を迎えます。

全体構成を立案し、指導するのが演出家の役割です（もちろんダメ出しも）。

奈良川西の町民劇団の演出・



「ダメ出し」では、細かいところまで指導が続きます

指導を行っているのは、テノール歌手で音楽芸術の広い分野で活躍中の黒田晋也さんです。

黒田さんは、東京在住ですが、二年前、コスモスホールでのコンサートに出演したのがきっかけで、町民劇団「コスモス」の演出も手がけるようになりました。奥さんの聡子さん（ピアニスト）と三人のお子さんも参加・出演しています。

黒田さんに伺いました。

黒田 町民劇団の演出を手がけたのは今回が二作目です。素人の人たちの芝居に対する気持ち、を大事にしたいと思っています。

指導で奈良川西におじやますると大抵二三日滞在することになります。子どもたちも一緒にいきますから、自然と奈良の子どもたちと仲良くなって、そ

のまま一
家で関わ
るように
なりまし
た。

今回の
交流公演



黒田さんご一家

は、すごく貴重なことだと思えます。たかだか同じ町名同士の交流とはいっても、お互いが認めあっていないければこういうことは実現しません。今回は舞台同士の交流ですが、これをきっかけにもっと幅広い住民同士の交流が生まれればいいですね。

奈良川西の町民劇団は今のところ井の中の蛙ですが、ここで、大海を見ることができるとどうかが試されるわけです。関西のコテコテの笑いの文化が東の文化の中で受け入れられるかどうか、本番が終わってお客さんを送り出す時が楽しみでもあり、不安でもありますね。

そんな

話をしているうちに本番を迎えました。

開場一時間前から待つていた人も含めて、

お客さんは約四〇〇人。前から順番に詰めて、用意された観客席はほぼ満員となりました。

開演までの間には、同時開催された「全国川西物産展」で面白い物を楽しむお客さんの姿も目立ちました。



開演前には満席になりました

『ぼたん雪』

三〇分後の午後三時、『ぼたん雪』の幕が開きました。

物語は、昭和三十年代、商い盛んな木田貝ボタン商店が舞台。



夫の死後、番頭の栄助とともに老舗を切り盛りする女主人ゆうのもとに二人の女性が訪れた。

吉田すずとその孫さち子だった。さち子は、ゆうの亡き夫光男と、かつて光男のいいなずけだったせつとの間の子で、ゆうと光男の政略結婚後に生まれてきた。

ゆうと光男の間には明という息子が生まれたが、光男は明の成長を待たずに亡くなった。

明はわがまま放題に育ち、放蕩を重ね、やがて高利貸山下に

二〇〇万
円もの借
金を負う
ことにな
って家出
してしま
う。店は

山下に乗
っ取られ
てしま
い、同時
に店の従
業員ゆき
が明の子
を妊娠し
ているこ
とが発覚
し、ゆう

はショックで倒れてしまう。

番頭の栄助を先頭に従業員たちは懸命に店を守ろうとするが、はかばかしくない。

発作が恐くて伏せがちなゆうは、古くからつきあいのあるデザイナーや、旧知の田口医師らの励ましで次第に元氣を取り戻



友情出演した土田フミ子さん（上野）は、下請役を見事に演じました（左）

していく。そして、土地の権利証の名義と店の賃借料をめぐつての攻防で高利貸山下を追い出すことに成功する。

半年が流れ、明とゆきは祝言を挙げる。外にはぼた雪が舞っていた。

二時間を超える、笑いあり涙ありの感動物語に、観客も十分に観劇を堪能したようです。

そのこ

とは、会場を後にするお客さんの笑顔が何よりも正直に物語っています。



特別出演の田口町長も医師役を熱演

再び黒田さんに伺いました。

黒田 新潟川西のお客さんが、一番前から席に着くのに驚きました。そして、待ち時間の間、袋を取り出してぱりぱり食べ始めたのにもびっくりしました(笑)。皆さん芝居を楽しみに来ていることがよくわかり、これで公演は成功だと確信しました。実際、役者、舞台、照明、音響、そして観客の呼吸がぴったりに合った公演だったと思います。

楽屋でのひとことを本番で

また、公演を終えての感想を、新潟川西のスタッフ・出演者にも聞いてみました。

小宮山清美さん(受付担当)



ある人から強引にスタッフに誘われたのですが、結果的にはとても楽しい時間が過ごせました。もともとイベント好きなので、こういうことが合っているようです。

渡貫文人さん(舞台担当)



奈良は距離的にはとても遠いのですが、とても近い、親しい気持ちになっ

ています。演劇も、個性をぶつけ合う形で進むのが参考になりました。

かわにし夢きやらばんと違って、舞台や音響、照明などのスタッフが専門で、役者は演技に集中できるのがうらやましいですね(こちらは、全員が兼務)。

蔵品順子さん(賄い担当)



盛りつけをする蔵品さん

三年前、奈良の皆さんにお世話になったので、今度は私たちの腕の見せどころと張り切りました。実際はまんま炊きと洗い物で終始しましたが(笑)。

昔ながらの「ごつつお」を中心に皆さんに提供しましたが、奈良からも二人のスタッフの方に加わってくださり、食文化を通しての交流の花も咲きました。配慮がうれしかったです。

村越由喜さん(楽屋担当)



着つけを手伝う村越さん(左)

楽しませてもらいました。出演者の着替えを手伝う係だったんです

が、プロの方もお願いしてありましたし、黒装束の奈良の皆さんが、文字どおり黒子に徹してくださって、てきぱきと動いてくださったんで、私たちはお客さんみたいでした(笑)。

古沢裕さん(物産展担当)



新潟の皆さんから買ってもらう予定が、奈良の皆さんからたくさん買ってもらいました。売れ筋は、やっぱり米が一番人気で次いでそばでした。ね。奈良の商品では、みそ煎餅の人气が高かったようです。

十月二十六(土)、二十七日(日)と兵庫県川西市で開かれる「全国川西物産展」への感謝も得ることができました。

土田フミ子さん(友情出演)

全体としてとても楽しい思いをさせてもらいました。

舞台の稽古では、最初は関西弁の掛け合いが難しくてどうしようかと思いました。ふだん、テレビの関西弁の漫才を違和感なしに見ているのに、いざ自分が舞台上になると意味が分からなくなっパニックでした。

でも、奈良のスタッフの皆さんのおかげでなんとか乗り切ることができました。最後は、楽屋での何気ないやりとりを、そのまま本番でも使ったらとても喜んでもらえました。

田口直人さん(町長・特別出演)

奈良の皆さん、特に女性パワーに圧倒されました。うちの女性もかなりのもんだと思っていましたが、上には上があるもんです。

こういうことで、お互いに刺激し合って、ともに成長するいい関係を続けていきたいですね。

関口昌生さん(実行委員長)



まず、稲刈り時期にも関わらず、大勢のお客さんからおいでいただいたのがうれしかったですね。

実行委員会も、最初は十数人でスタートしたのが最後は七〇人という大組織になって、おもてなしの体制をとることができました。奈良の皆さんからも満足していただけたのではないのでしょうか。

「かわにし夢きやらばん」の立場から、『ぼたん雪』から多くのことを学ぶことができたように思います。十一月の自満祭では、「コスモス」の皆さん

に負けないものをお見せできるようにがんばりたいと思います。もちろん、私だけでなく、他の団員全員の思いです、よ、ね。

新しいスタート

ネット(全国)かわにし交流事業の一環として実施されたこの催しは、両川西町の住民同士が一つの目標に向かって行動すること、心が一つに溶け合う効果をもたらしたようです。

今後は、この流れを、確実な新しいステップに結びつけていくことが大切になってくるでしょう。

公演を終えての交流会であいさつした南雲ハルエさん(中仙田)の、「第一回の公演は終わりましたが、ここからが新しいスタートです」ということばが印象的です。



美しい地球で、いつまでも 心豊かに暮らせるために



「エネルギー」と
「地球環境」について
みんなで考えましよう

二十世紀から二十一世紀へ引き継がれた大きな課題として「エネルギー問題」と「地球環境問題」があります。この二つの問題は、ともに緊急性を有しており、それぞれ深くかかわりあっています。「エネルギー問題」でその対処を急がれているのが化石燃料の枯渇です。石油や天然ガスは二十一世紀の半ばに、石炭もそれほど遠くない未来に使い果たしてしまうと予測されています。一方、「地球環境問題」では、化石燃料の消費によって排出する膨大な量の二酸化炭素により温暖化が加速され、地球環境保全に深刻な影響を与えはじめています。

一九九七年十二月に京都で開催された「気候変動枠組条約第三回締約国会議（通称COP3）」では、先進国の間で温室効果ガス排出抑制についての明確な目標が設定され、より積極的な対応が義務づけられました。また、温室効果ガス削減に向け、開発途上国への呼びかけの努力も続けられています。

「エネルギー問題」と「地球環境問題」、この二つの問題を一挙に解決に導く対策として、世界各国が熱心に取り

組んでいるのが、エネルギー消費の削減と新エネルギー導入の推進です。日本においてもすでに各方面で、エネルギー消費の効率化や、化石燃料から自然エネルギー、リサイクル・エネルギーなど新エネルギーへの転換について様々な取り組みがなされています。しかし、巨大化した現在のエネルギー消費にあっては、その歩みは遅々としたものといえます。COP3での目標を達成するためには、国、地方公共団体、民間企業、そして私たち一人ひとりが意識を変革するとともに、それを実行していくことが必要です。

自然のエネルギーは地球の営みを支える大切なエネルギーです。その恩恵に感謝し、この世界が引き続き未来の人類にとって、心豊かに暮らせるところであるように、地球環境と私たちの豊かな生活の共生を真剣に考える時代に入りました。

町では、地方公共団体としての責務を果たす意味で、「地域新エネルギービジョン」の策定に取り掛かっています。

エネルギー消費量の推移

わが国におけるエネルギー消費量は、一九七三年と一九七九年の二度のオイルショック後に一時的に減少したものの、ほぼ

一貫して増加してきており、二〇〇〇年には、一九七三年からの約三〇年の間に一・四倍に増加し、原油換算で年間約四億六百万キロリットルとなっており、消費部門別に見ると、原油価格が比較的安定していること

と豊かさを求めるライフスタイルを背景に民生部門と運輸部門の消費量がそれぞれ約二倍に伸びているのに対し、オイルショックを契機としてエネルギー利用の効率化が図られた産業部門ではほぼ一定の消費量となっています。

化石燃料への依存

このように、わが国では大量のエネルギーを消費しており、

化石燃料の枯渇

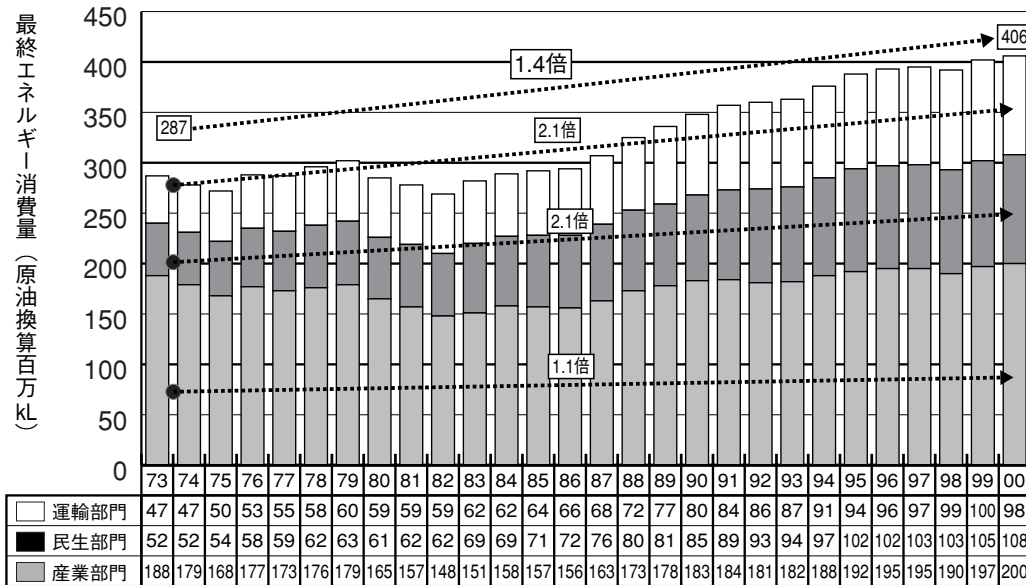
また、今のペースで使い続けると、石油が四一年、天然ガスが六三年、石炭が二一八年前後で枯渇すると予測されています。近い将来、化石燃料はもはや供給が懸念されています。

その約八割を海外からの供給に頼っています。特に、石油はほぼ一〇〇%を輸入に頼り、エネルギー全体に占める割合が五割を超えています。

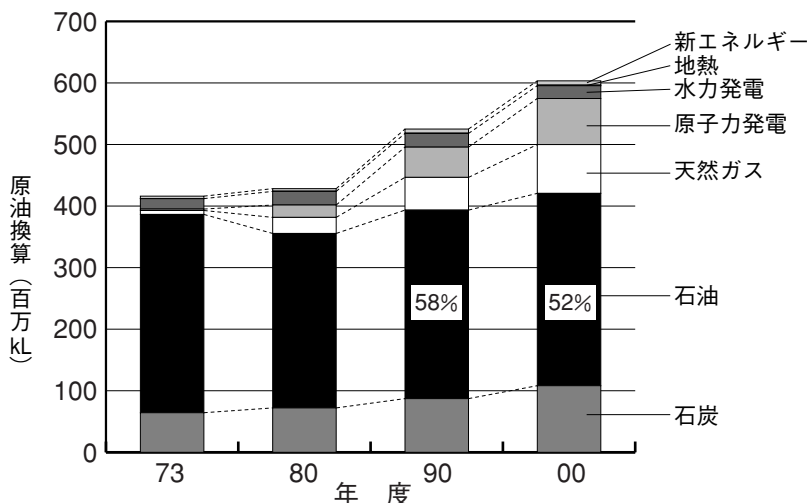
地球温暖化

や、消滅しているかもしれません。

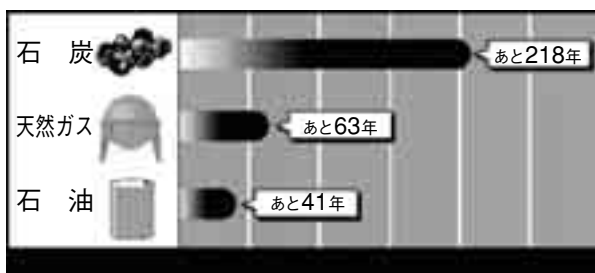
部門別最終エネルギー消費量の推移（総合エネルギー統計による）



一次エネルギー総供給量の推移



化石燃料の残存量



京都議定書の締結

一九九七年十二月に京都で開催された「気候変動枠組条約第三回締約国会議（COP3）」では、いわゆる京都議定書が採

地球の長い歴史の中では氷河期や温暖期など気温や気候はさまざまに変化してきました。しかし、余りに急激に変化すると、その変化に動植物が適応できず生態系が崩れます。人類に対する影響としては、異常気象による災害の発生や農作物の減少、氷河や南極の水が溶けて海水面が上昇することによる土地の水没などがあげられます。

択されました。この中で、わが国は二〇〇八年から二〇一二年の二酸化炭素等の温室効果ガス排出量を一九九〇年に比べて六％削減することを求められており、二〇〇二年六月に議定書の締結を決定しています。

わが国が排出する温室効果ガスは約八割がエネルギー起源の二酸化炭素であり、政府はCOP3公約の実現を目的として、エネルギー起源の二酸化炭素を、二〇一〇年度において一九九〇年度と同水準に抑制することを掲げています。

新エネルギーとは

以上のような、「エネルギー問題」と「地球環境問題」という二つの課題を解決するには、国産エネルギーであり資源制約が少なく、環境負荷も小さい「新エネルギー」の導入促進が求められています。

新エネルギーは、エネルギー源の性質により、大きく三つの形態に分類することができま

需要サイドのエネルギー

クリーンエネルギー
自動車
天然ガス
コージェネレーション
燃料電池

供給サイドのエネルギー

石油
石油代替エネルギー
石炭 天然ガス 原子力
再生可能エネルギー
水力 地熱
新エネルギー

熱利用

太陽熱利用
雪氷冷熱利用
廃棄物熱利用
バイオマス熱利用
その他未利用
エネルギー

電気利用

太陽光発電
風力発電
廃棄物発電
バイオマス発電

二〇〇二年一月に雪氷冷熱エネルギーとバイオマス発電・熱利用・燃料製造が新エネルギーに加えられました。

町がビジョンを策定すること

国は、一九九七年四月に「新

エネルギーの利用等の促進に関する特別措置法」を制定し、同年九月には「新エネルギー利用等の推進に関する基本方針」を閣議決定しました。

この中で、新エネルギーの範囲を定めるとともに、エネルギー利用者や事業者が取るべき措置、エネルギーを使用するもの

として国・地方公共団体が果たすべき役割、新エネルギー利用等推進のために地方公共団体が講ずべき施策を示しました。また、新潟県でも二〇〇一年三月に「新潟県地域新エネルギー導入推進計画」を策定し、二〇一〇年までの新エネルギー導入目標と地域ごとの一般的特性に基づく導入特性を提案しています。

町では、千手温泉千年の湯や仙田体験交流館の雪室での自然エネルギー利用、有機農法や生ごみリサイクル活動への支援など、これまでも循環型社会の構築を念頭におき、各方面で様々な取り組みを行ってきました



第2回策定委員会の様子

た。

今年度は、「新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）」が国の委託を受けて実施している「地域新エネルギービジョン策定事業」の補助金を利用して、総事業費約一〇〇万円をかけ、町の新エネルギービジョンを策定しています。

この新エネルギービジョンをまとめるにあたって、七月に策定委員会と庁内検討委員会を設置するとともに、町内のエネルギー使用量や未利用エネルギーなどの調査を行ってきました。

どこで新エネルギーが利用できるか、これからだけだけのエネルギーが必要なのか、町民のみなさんのご意見をいただきながら様々な角度から検討し、ビジョンづくりを進めています。

そして、これからのまちづくりの指針の一つとしていきたいと考えています。みなさんのご協力をお願いいたします。

町内の全世帯を対象に、新エネルギーについてのアンケートを行います。

ご家族で話し合い、ご協力をお願いいたします。

●お問い合わせ 役場開発課

☎68-3111

三領という呼び名

新潟県民俗学会の生みの親といわれる小林存先生が、「三領は、三藩の領地が入り混じっているという意味であろう」と、『県内地名新考』に書かれた。

その後、直接お会いして話す機会があったので、あらためて聞いてみたところ、「正直にいうてどうにも見当がつかない地名だ」と、頭を掻いて笑った。

正保二年（一六四五）の越後の国絵図に「三領村、高七十八石余」とあるのが、村名を書かれた最初のものであるから、三藩の領地というのであれば、それ以前の話でなければならぬ。なお、鎮守十二社は、寛文八年（一六六八）に建てられたという記録があると聞いた。



川沿いにまとまる三領集落

上杉謙信時代で、節黒城に上野氏（永正三年讓状、一五〇六）がいたころには、他の領主が入り込む余地はなかったはずである。その後、高田藩主が次々と交替して、家臣たちに適當の土

地を与えて支配させた例があるけれども、こんなに狭いところを三分して与えるようなことがあったとは考えられない。

三領の開発は、水品・南雲・高橋の三族があつたものでありと伝えている。三家の持ち分で成り立っていることから、三領村の名が生まれたものではないか。

文化元年（一八〇四）の作成という『白川風土記』には、「文祿の頃（一五九二～一五九五）に開発」とある。豊臣時代の末期で、秀吉は慶長三年（一

した村名があつたかどうかの想像はできないが、一つの拠点ともなり得る住民がすでにいたのではないかと思われる。

そのように考えると、三領村の起源は、少なくとも六五〇年以前にさかのぼることになるろう。

農地開発と前原堰

信濃川の洪水で、沿岸部は痛めつけられることが多かっただろうが、上の段丘から流れ落ちる水を利用しての開田が休まず進められ、古い検地記録が残っている。

おらうらの話

（第十八回）

上野 上村政基

五九八）に亡くなっている。

このあと、関ヶ原の戦があり、徳川幕府が開かれて、高田藩主松平光長領の正保二年に三領村が含まれているのだから、だいたい時代的には当たる。

しかし、新田名が付いていないから、同じく「文祿・慶長の頃開発」と『風土記』にある隣村の木落村と同様で当初の開発は、もっとさかのぼるのではないか。

また、視点をぐっと変えてみると、地内から南北朝時代の自然石梵字碑（板碑）が四基も見されている。そのころ、独立

地域ではあるものの、休みなく開発が進められてきた様子が、十分にうかがえる。

江戸時代末期の天保年間（一八四〇ごろ）に、頸城郡大原村（現安塚町）から入ってきた前原安五郎は、自己資金を投じて積極的な水田開発を行った。

大川沿いに常時安定した水を流すために、総延長四キロ以上に及ぶ水路を築造し、六〇〇メートルの切り穴（水路トンネル）を掘るといふ大工事を完成させた。



「現代の用水路」として生まれ変わった「前原堰」

取入口の沖立では三領堰、小根岸では堰、三領では田屋の堰・前原堰、木落では堰の川とそれぞれ呼んで、その功績を伝えている。田屋は、安五郎の屋号である。

同家は、地面師とも呼ばれて土木関係事業に携わり、明治中ごろには中魚沼郡学務委員に前原丈四郎の名を見るけれども、やがて長岡へ転住した。

近年の耕地基盤整備で昔の姿は大変わりしたが、切り穴の効果はそのまま残っている。

県営渡船場

昭和三十九年に栄橋が開通するまで、三領に県営渡船場があった。

文明十八年（一四八六）に京都聖護院門跡の道興准后が通り、その後も詩僧として名高い万里集九が越えた記録があるので、木落渡しの歴史が広く知られている。

そして、昭和二年の鉄道十日町線（現飯山線）が開通するのを機会に、下条村の桑原と橋村の木落の間に渡船組合が設立されて運航したので、木落渡しの名は、前者と後者とで同じだと誤解している人が、少なくない。しかし、古い歴史をもつ木落渡しは、明治二十九年の信濃川大洪水で水流が変わったため、その後は三領に移転して引き続き営業された。

十日町と柏崎を結ぶ県道新設工事については、各地からの誘致運動が入り組んで着工が遅れていたのを、ようやく千手通過として明治三十一年秋に完成した。

このとき、要望路線のひとつにあげられていた上野・中条・十日町經由案の見返りとして、三領渡しが県営渡船場に認められた。渡船賃が無料となり、船頭は県職員に採用されて継続してきた。

これが町のふところ具合！

平成13年度 決算

平成十三年度の町の決算が、九月十八日の議会定例会で認定されました。

このうち、一般会計の概要についてお知らせします。

歳入は、五二億九三九七万円で、前年度より一〇・五％減少しました。歳出は、四九億八七九三万円で、これも、前年度より一〇・八％減りました。

歳出予算の執行率は九四・四％で、実質収支は二億九五三四万円となっています。

歳入は、町が自らの手で徴収することができる「自主財源」と、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

自主財源には、町税、負担金、使用料、手数料、寄附金などがあり、依存財源には地方交付税、国県支出金、町債などがあります。

歳入全体における自主財源の比率は、二八・八％で、前年より〇・三ポイント減っていますが、これは、基金繰入金が七〇〇万円あまり減ったためです。依然として依存財源の占める割合が大きい状況となっています。

歳出では、戦略的なまちづくりを行う「ビッグプロジェクト三本柱」といわれる事業が特徴的です。

「賑わい空間創出事業」は、平成十二年度から建設を進めてきた

温泉施設が完成し、『千手温泉・千年の湯』として昨年十一月にオープンすることができました。事業名にふさわしく予想以上の賑わいが続いています。

「仙田地域総合整備事業」では、体験交流館が完成し、道の駅「瀬替えの郷せんだ」とともに、昨年七月にオープンすることができました。これも、仙田地域振興の牽引役を果たしています。

「里創プラン事業」では、十二年度に開催された大地の芸術祭で、注目を集めた「光の館」の人氣が衰えず、主役の座を不動のものにしています。

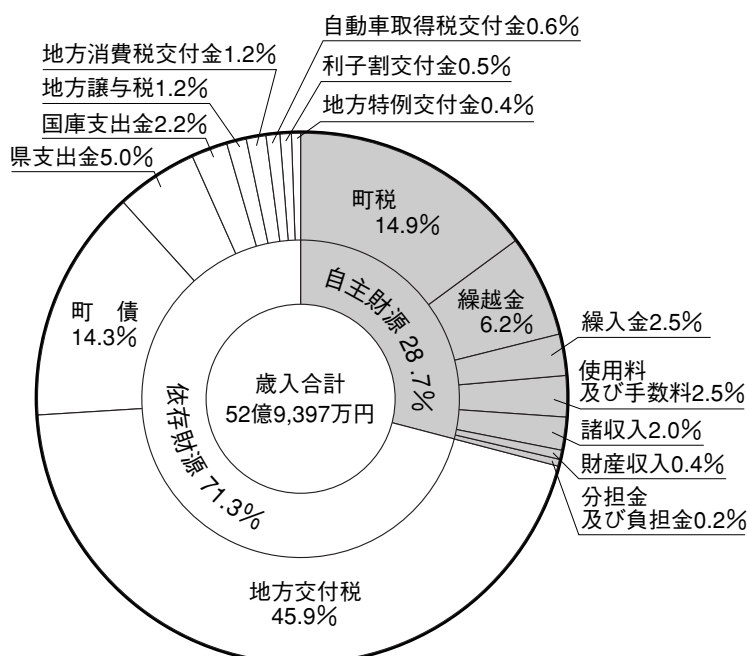
また、大型事業の完了に伴い、普通建設事業費は、前年に比べて六・一％の減となっていますし、減債基金の積立額などの大幅減額などにより、積立金は九五・九％の減となっていることなどが特徴的なところです。

町財政の現状は、「貯金も大きい借金も大きい」という状況が続いており、黄信号から赤信号に変わりつつあるところといえます。

このままでは財政の硬直化が一段と進むため、健全化対策をさらに進める必要があります。

平成十三年度決算の目的別歳出の内訳は次ページのとおりです。

一般会計 歳入



特別会計 決算

国民健康保険	歳入	6億5,226万円
	歳出	5億7,586万円
国民健康保険診療所	歳入	2億4,937万円
	歳出	2億4,550万円
老人保健	歳入	10億6,187万円
	歳出	10億269万円
簡易水道事業	歳入	1,376万円
	歳出	1,350万円
下水道事業	歳入	3億7,194万円
	歳出	3億6,939万円
介護保険	歳入	4億5,740万円
	歳出	4億5,440万円

●議会費

7,651 万円 (1.5%)

定例会 12 日、臨時会 2 日を通して 108 件の案件を審議したほか、各委員会で付託事件を審査するとともに、先進地行政視察などを行い、まちづくりや諸課題について研究しました。

●総務費

5 億 2,042 万円(10.4%)

人事、庶務、財政、交通安全、広報などの各分野での対応や、地域振興、町の将来計画、広域事業、税務、戸籍、選挙など多岐にわたる業務に要した費用です。

●衛生費

4 億 3,819 万円(8.8%)

住民検診や予防接種、母子保健、老人保健など、健康と保健に関する業務のほか、ごみやりサイクルなど環境衛生の分野の業務も含まれています。



内外から注目を集めている生ごみリサイクル事業

●民生費

5 億 9,872 万円(12.0%)

社会福祉、母子福祉、児童福祉、高齢福祉、障害福祉などのほか、保

育所、児童手当、国民年金などの業務を進めるために要した費用です。

●農林水産業費

6 億 1,608 万円(12.4%)

稲作や野菜などの農業振興のほか、林業振興、畜産振興、集落環境整備、農地の移動・管理などがありますが、仙田地域総合整備事業が大きな割合を占めています。



多くの可能性を秘めている仙田体験交流館の雪室

●労働費

2,299 万円 (0.5%)

十日町地域シルバー人材センターに委託して実施する業務がほとんどで、役場庁舎や総合センター、総合体育館などの宿日直業務、公園の草刈りなどがあります。

●商工費

1 億 5,879 万円 (3.2%)

商工業の振興、観光振興などが主なものですが、大地の芸術祭など、広域事業として実施している里創プラン事業も負担金として支出しています。

●消防費

1 億 7,677 万円 (3.5%)

十日町地域広域事務組合への負担金として支出されました。町内での平成 13 年度の火災は 3 件、西分署の救急車出動は 232 回ありました。また、消防団員は 350 人となっています。

●教育費

4 億 2,791 万円 (8.6%)

学校教育、社会教育、社会体育、学校給食などの教育行政推進に要する費用が主なものですが、心の教室事業、山村留学など特徴的な事業も含まれています。

●災害復旧費

597 万円 (0.1%)

融雪や豪雨による災害で、農地農業用地 1 件の復旧事業が実施されました。融雪の場合は一日 200 mm、豪雨の場合は 24 時間最大雨量が 80 mm 以上が採択の基準になります。

●土木費

12 億 3,231 万円(24.7%)

道路や水路の新設や補修工事、消雪パイプや流雪溝の整備、道路除雪、都市計画や町営住宅に関する費用のほか、千手温泉施設整備を中心とする賑わい空間整備事業などが主なものです。



千年の湯はオープン以来賑わい続けています

●公債費

7 億 1,327 万円(14.3%)

各種施設の整備工事を実施する際に町が借り入れる起債（借金）の元金や利子の支払いに充てられる費用です。その 7 割が交付税で補填される過疎債が最も多くを占めています。

真剣に考えよう 合併について

その十二

市町村合併問題も身近な話題として、少しずつですが論議されるようになってきました。

町内の分野別の各種団体の皆さんとの懇談会も終了し、今月下旬からは、住民の皆さんとの懇談会を計画しています。積極的なご参加をお待ちしています。

合併検討のこれまでこれから

▼九月三日（中里村）

十日町広域圏六市町村合併問題研究懇談会の助役・担当課長で組織する『合併問題研究班』会議が開催されました。

▼九月三日（役場委員会室）

第四回の川西町市町村合併問題検討委員会（住民組織）が開催されました。今後四回に分けて、この地域が二十五年後にどのようなようになっていたら暮らしやすいか、ワークショップ方式で検討することになりました。

▼九月四日（川西町活性化センター）

川西町の農業関係団体と田口町長とで懇談会を開催し、活発な意見交換をしました。



▼九月二十六日（川西町活性化センター）

第五回の川西町市町村合併問題検討委員会（住民組織）が開催されました。前回に引き続き二十五年後の望ましい姿について考えました。

▼九月二十七日（中里村）

十日町広域圏六市町村合併問題研究懇談会の第五回の会合が開催されました。

▼十月四日（川西町活性化センター）

役場の課長で構成する庁議と職員の合併研究会の合同会議を開催し、合併問題の今後の取組みについて、検討しました。

▼十月九日（川西町活性化センター）

合併問題の今後の取組みについて、町議会と田口町長とで協議を行いました。

▼十月十一日（川西町活性化センター）

第六回の川西町市町村合併問題検討委員会（住民組織）を開催し、二十五年後の望ましい姿について考えます。

身近なあれこれ

今月号では、六市町村の身近な行政サービスや助成制度について、五十歳代以降について比較します。

第三回

五〇歳代以降 編

◆健康診査負担金

◎生活習慣病の予防、早期発見及び治療を目的に実施される各種健康診査に要する費用を比較します。（別表１）

◆高齢福祉対策

◎各市町村が実施している高齢福祉サービスと比較します。なお、福祉対策は各市町村とも独自性があり、サービス内容も広範囲のため、今回は国県の補助金を受けない市町村単独事業を掲載しました。（別表２）

別表１ 健康診査負担金（円）

		十日町市	川西町	津南町	中里村	松代町	松之山町
総合健康診査		男 7,000 女 8,000					
基本健診	全項目	1,300	1,300	1,200	1,200	1,300	1,400
	循省略	800	700	500			
血糖検査（糖負荷検診）			700	700	500		500
胃がん検診		1,000	900	900	1,100	1,000	1,000
肺がん検診	読影		200				200
	喀痰	700	500	700	700	800	600
子宮がん検診	頸部	1,000	600	1,500	1,500	700	700
	頸体部	1,400		2,100			
乳がん検診		600	300	600	600	500	400
大腸がん検診		500	500	500	500	500	500
骨粗しょう症検診		1,000	1,000	500	700		2,625
肝炎検診	節目検診		500		800	800	800
	要指導者等二次検診		1,500	1,500		1,800	1,800

お知らせ

住民懇談会を開催します

十月下旬から、町内で約二十箇所の会場を設けて、住民の皆様と合併問題の懇談会を開催します。

日程など詳細は、十月二十日にチラシでお知らせします。

別表 2 高齢者福祉対策（「 」部分は社会福祉協議会などの実施事業）

項 目	事業分類		十日町市	川西町	津南町	中里村	松代町	松之山町
広報啓発推進体制の整備	福祉大会等（101）					75歳以上福祉大会		
	敬老事業	敬老会・金婚式（102）	75歳以上 1,500円／人	75歳以上 2,000円／人	金婚・ダイヤモンド婚祝品			
		祝金品支給（112）	80/88/90/99/100/101歳以上 祝金	77/88/100歳祝品・祝金・訪問		100歳 祝金	100歳 祝金	
			金婚・ダイヤモンド婚祝品				77/88/95/100歳・金婚ダイヤモンド婚祝品	88/99歳 祝金 80歳以上 祝品
	計画・調査（103）				65歳以上の台帳作成			
	団体への補助（104）		30人未満の単位クラブ 1,000円／人					老人クラブへ助成
	その他（105）							70歳以上の特殊技能者を顕彰
社会参加・生きがいと健康づくり	スポーツ	スポーツ大会（201）			60歳以上歩け歩け大会		高齢者スポーツ大会	
	健康増進活動（202）				地域ぐるみの健康づくり事業		リハビリ教室	
	生涯学習（203）			地区高齢者学級他	講演会・軽スポーツの実施	クラブ活動・短期教室の開催	社会参加活動学習活動	体操・レクリエーション・座談会
	趣味講座（204）			生きがい対策教室	65歳以上の団体への活動費助成			
	社会奉仕活動（206）							町内一斉空き缶拾い
	公共施設等利用料助成（208）							70歳以上温泉無料入浴証交付
	その他（生きがい対策）（209）		ゲートボール場整備に助成			昼食会年2回春秋高齢者対象の行事		
生活環境の整備	交通安全対策（303）		反射材配布ゲートボール大会		交通安全講和等			
	その他（304）							共同住宅生活の実施
介護予防の推進	配食等サービス（400）		月2回・夕食 300円／食	月8回・夕食 200円／食				月3回・昼食 250円／食
	外出支援サービス	福祉バス運行事業（401）				路線バス未運行集落毎週木曜日運行		
		バス・タクシー利用料助成(411)			路線バス未運行集落タクシー券交付			福祉タクシー券交付
	寝具消毒・乾燥（402）		春丸洗い 4,000円 秋消毒 1,400円					寝具クリーニング 3,000円助成
	安否確認活動（408）			春秋2回の昼食会	冬期間に民生委員による安否確認			
	慰問活動（409）							福祉施設へ餅米、タオル、しめ縄配布
	軽度生活援助関連	その他（413）					介護保険非該当者への家事支援	
	相談・情報提供活動（500）					相談員2名設置	痴呆老人を抱える家族の相談会	
	介護機器給付・貸出（501）				介護用品貸出・リハビリ機器購入			
	介護予防その他（507）			介護保険自立認定者への助成		65歳以上の在宅福祉サービス負担額の軽減		
	家族介護教室（508）						寝たきり・痴呆老人の介護方法の学習	
	介護用品の支給・助成（509）			非課税世帯 3,100円／月 課税世帯 6,200円／月		紙おむつ購入費の助成	紙おむつ購入費の助成	
	家族介護者ヘルパー受講支援(601)				3級ヘルパー養成講習会の開催			
	介護慰労金（603）		5,000円／月	3,000円～7,000円／月	3,000円～15,000円／月	5,000円～10,000円／月	5000円 8000円	
	家族介護その他（604）					温泉券・助成券交付		介護認定者の利用負担額を助成
施設運営	施設運営（700）		老人憩いの家・老人福祉センターの運営		高齢者施設維持管理費			
					冬期間に中心地での居室提供			
	その他（701）						ゲートボール場整備に助成	

※H 13 新潟県福祉保健部「高齢化対策市町村単独事業等一覧」から掲載事業は簡略して掲載しています。対象者が限定されているものや、助成率にも幅があります



九月十五日は敬老の日。今年も八十八歳（米寿）を迎えられた方、三十六人に町から敬老祝いの品が贈られることになり、十四日、町長、助役、収入役が各世帯を訪問して直接祝い品をお渡ししました。お祝いを受けた方をご紹介します。

（順不同・敬称略）

田中イシ（山野田）、宮沢ノブ（山野田）、高橋トシ（山野田）、田中久松（発電所通り西）、田中ノブ（発電所通り西）、太田義雄（中央町）、山村浩之（田中町）、片桐ハル（神社町）、羽鳥シゲ（伊友）、大塚チヨ（高原田）、中村イツ（坪山）、中村ナカ（坪山）、山岸藤一郎（霜条）、平野ハツ（あかね園）、内山潔（上野）、田村サダ（上野）、上村トシ（上野）、水品保（新町新田）、徳永市太郎（下平新田）、沢口富士雄（下平新田）、

川西町長寿者番付

平成 14 年 9 月 15 日現在

（敬称略）

（平成 15 年 4 月 1 日満年齢）

東						西					
氏 名	住 所	世帯主	生年月日	年齢		氏 名	住 所	世帯主	生年月日	年齢	
北 村 ク メ	山野田	日出太	M30. 4.10	105	横綱	数 藤 寅 治	沖 立	寅 夫	M34. 4. 3	101	
高 橋 惣 治	室 島	寅 治	M34. 6. 5	101	大関	田 口 キ ヨ	木 落	直 正	M36. 1. 7	100	
丸山宗太郎	下 原	本 人	M36. 2.26	100	関脇	小 海 ク ヨ	小根岸	益 男	M36.10.23	99	
高 橋 ヒ サ	中仙田	恒 平	M37. 3. 4	99	小結	柄 沢 莊 八	沖 立	数藤実	M37.12. 7	98	
根 津 英 作	上 野	本 人	M37.12.21	98	前頭	星 野 ミ ン	野 口	勝 平	M38. 4. 4	97	
高 橋 セ キ	高 倉	明	M39. 2. 9	97	2	羽 鳥 イ セ	伊 友	昭 二	M40. 2. 3	96	
清 水 ミ ヨ	寺 尾	久 一	M40. 2.13	96	3	星 名 フ ミ	あかね園	本 人	M40. 3.10	96	
星名マサヲ	伊 友	和 幸	M40. 9.27	95	4	中村チヤノ	岩 瀬	昌 弘	M40.11.15	95	
大井カツノ	寺 尾	佐 市	M40.12. 2	95	5	相 馬 周 蔵	木 落	敏 夫	M41. 1.28	95	
小 海 ヨ キ	あかね園	本 人	M41. 2.24	95	6	北 村 セ ツ	東善寺	準 一	M41. 3.20	95	
高 橋 チ カ	あかね園	本 人	M41. 4. 1	95	7	関 口 ト ク	木 落	清	M41. 5. 8	94	
田 口 フ ジ	木 落	喜太郎	M41. 9.14	94	8	今 藤 ミ セ	上 野	清	M41. 9.18	94	
南 雲 マ ツ	中屋敷	利 夫	M41. 9.22	94	9	田 中 利 八	仁 田	春 吉	M41.11. 5	94	
大 井 正 司	美咲町	本 人	M41.12.13	94	10	小林フジエ	木 島	松 市	M42. 1.31	94	
高 橋 サ イ	神社町	庸 浩	M42. 3.20	94	11	高 橋 ト モ	坪 山	一 能	M42. 3.28	94	
小 川 ソ カ	上 野	昭 一	M42. 4.25	93	12	小 川 ノ ブ	岩 瀬	充	M42. 8. 8	93	
桐 生 梅 治	大白倉	本 人	M42. 9. 2	93	13	蔵品マスイ	霜 条	清 市	M42. 9. 3	93	
丸 山 フ ジ	あかね園	本 人	M42. 9.15	93	14	真明キクエ	上 野	成 光	M42. 9.18	93	
米 山 一 郎	室 島	孝 行	M42. 9.26	93	15	小 林 セ ツ	中屋敷	英 一	M42.10. 6	93	
小 林 サ ワ	中屋敷	晃	M42.11. 8	93	16	高 橋 き つ	赤 谷	直 孝	M42.11.10	93	
大 井 ミ ヨ	美咲町	正 司	M42.12.17	93	17	小林市四郎	木 島	松 市	M42.12.28	93	
押 木 二 吉	田 戸	篤 美	M43. 1.21	93	18	高 橋 ハ ノ	中仙田	善 一	M43. 1.28	93	
星 名 佐 平	伊 友	敏 雄	M43. 2.17	93	19	登 坂 キ ン	中島町	ミサヲ	M43. 3.12	93	
小 川 ツ サ	赤 谷	金 吾	M43. 3.22	93	20	金 子 芳 英	岩 瀬	敬	M43. 3.22	93	
佐 藤 ハ ル	あかね園	本 人	M43. 4. 1	93							

高橋ヨミ（三領）、小海ケイ（小根岸）、丸山セキ（木落）、永井正雄（木落）、田口幸平（木落）、戸田専治（仁田）、山田カツイ（仁田）、大平きみ（原田）、丸山サイ（根深）、斎木チイ（高倉）、青木タツ（田戸）、若月リカ（田戸）、小川富治（岩瀬）、中條一男（岩瀬）、保坂ツタ（大白倉）、田中武（小白倉）



田口町長から記念品を受ける田口幸平さん（木落）



押木助役から記念品を受ける上村トシさん（上野）



根津収入役と記念写真に収まる中村ナカさん（坪山）

この「敬老の日」ですが、兵庫県多可郡野間谷村（現在の八千代町）の村長が提唱した「としよりの日」が始まりで、「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と、昭和二十二年から、農閑期に当たり気候も良い九月中旬の十五日を「としよりの日」と定め敬老会を開いたのがきっかけで、これが全国に広がったといわれています。

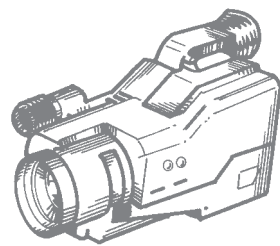
川西町の今年の敬老会対象者（七十五歳以上）は、千手地区四七五人、上野地区二四六人、橘地区二六九人、仙田地区二二三人の合計一、二三九人で、参加者は民謡・舞踊などの舞台を楽しんだということです。

多年にわたり社会につくし、二十世紀を駆け抜けてきたみなさんの笑顔は、とても輝いています。

果創プラン通信

35

短編ビデオ・フェスティバルについて



第一回の芸術祭は、その場所の地形、風土といった自然に根ざした作品の野外展開という手法で実施しました。二回目は、この点を継続しながら、更に周遊性、集客性も目に見えて分かるような事業展開を考えています。

これを具体的なものとして取り組んでいるのが、「短編ビデオ・フェスティバル」開催に向けた作品募集です。

芸術祭に、ビデオ（映像）作品がどうつながるのか、という方もいらっしゃるかもしれせん。しかし、現在は、形あるものを創るアートから、映像や音といった分野にアートの主流は移っており、しかも比較的関わりやすいということも手伝い、相当数の制作者層により支えられている分野となっています。

第二回芸術祭では、この映像作品

品も大きな柱になるものと期待されています。

こうした多くの関心を持つ層に対し芸術祭をアピールするだけでは、事業全体の盛り上がりだけでなく、作品の上映場所を中心市街地に配置するなど工夫を加えれば、空き店舗対策、商店街活性化に結びつけられる可能性を秘めています。

ひとの流れを生み出し、そこでの交流がまた次のひとの流れにつながる、そんな芸術祭を目指して第二回は幕開けを待っています。

【概要】

●短編ビデオ・フェスティバル作品の募集

- ・応募資格
資格、年齢、国籍問わず
- ・募集テーマ

基本的に自由募集期間
登録用紙提出締切り
十一月五日（必着）
作品提出締切り
十二月二日必着

●審査

- ・一次審査結果発表
二〇〇三年一月三十一日
- ・一次審査通過作品上映
二〇〇三年七月二十日～九月七日（芸術祭期間中）
- ※広域六市町村内で上映（空き店舗や、飲食店、公共スペースを想定）
- ・二次審査結果発表・授賞式
二〇〇三年八月二十四日

●賞

- ・大賞をはじめ、視聴者特別賞を設定

●詳細・問い合わせ先

- ・大地の芸術祭・花の道実行委員会事務局
（十日町地域広域事務組合企画振興課内）

☎ 57-2637
FAX 57-2285

e-mail: info@echigo-tsumari.jp
http://www.echigo-tsumari.jp/video/fes/
※パンフレットもあります。

「夢雪隊」を学びに一山形から

「夢雪隊」のユニフォーム姿で説明する関口さん



9月12日、山形県最上支庁と管内の市町村（新庄市、金山町、大蔵村）の職員18人が川西町社会福祉協議会（小林義幸会長）を訪れ、除雪ボランティア「夢雪隊」の活動について視察しました。

これは、最上地域における総合的な地域振興策の中で、克雪対策が最大の課題とされていることから、新潟県内の先進的な取り組みをしているところを調査する目的で、関係する自治体の職員が合同で視察に訪れたものです。

視察研修では、小林会長の歓迎のあいさつの後、夢雪隊事務局の関口昌生さんが隊の発足時のいきさつや活動状況などについて説明しました。

参加した最上支庁側からは、活動の具体的内容や課題などについて質問が寄せられ、熱心な意見交換の場となっていました。

正義の味方「アンパンマン」と火の用心を約束



「火の用心」 ぼくもわたしも

九月十五日、役場駐車場で消防ひろばが開催され、関係者や親子連れなど約二、〇〇〇人が参加しました。

ちびっこレスキューやはしご車体験・ミニ消防車など、「消防マニア」の子どもたちにはたまらないコーナーもあり、あちらこちらで歓声が聞こえていました。中でも、ちびっこの注目をひときわ引いていたのが消防署お手製の「アンパンマン」のぬいぐるみで、橋保育園がこの日のために練習した「アンパンマン体操」を一緒に踊るなどしてひろばを盛り上げていました。

親子で楽しく防火・防災に関する正しい知識を身に付けられたひとときでした。

時ならぬ田植えに「ギャラリー」もたくさん



え、秋に田植え？

九月二十五日、岩瀬集落の田んぼで田植えが行われました。「秋に田植え？」と驚かれるかもしれませんが、これは、「中山間地域向け稲作機械の展示・実演」（社）全国農業改良普及協会など主催）の中で行われたもので、特別に用意した苗を使って、谷あいのお水田に春と同じ手順で田植えをしました。この日は、田植機のほか、除草剤散布機、クローラトラクター、コンバイン、畔塗り機がそれぞれデモンストレーションを行いました。

近くの田んぼには刈り取りを待つ稲がいたり、稲をかけたハサが道沿いに並んでいたりと、ちょっとした「ミスマッチ」の風景が生まれていました。見学に訪れた人も、「秋に田植えなんて変だけど、なんか楽しいね」と、笑顔で見つめていました。

「有機の里川西」が環境賞受賞

9月28日、長岡市で開催された新潟県環境会議（議長＝新潟県知事）で、生ごみリサイクル活動を進めている「有機の里川西」（上村源司会長）が、「地域における模範となる環境保全活動」として新潟県環境賞を受賞しました。平成12年から取り組んできた有志による生ごみリサイクル活動を組織化し、家庭生ごみなどを収集して堆肥づくりをおこなうなど、住民による資源循環型のまちづくりへの活動が高く評価されたものです。

上村会長は、「今後、活動対象範囲を町内全世帯に広げ、住民一人ひとりが環境への意識を高める活動や、安全で安心できる農作物の栽培、身近な家庭菜園、花壇などへの利用促進をはかりたい」と、夢をいっているようです。

町としても、住民自らが取り組むこうした活動に対して、これからも支援していくこととしています。

表彰状を受ける
上村会長





6年男子400メートルリレーで優勝した上野小丸山くんとアンカーの沢口くん

第6回 十日町・川西町小学校 親善陸上大会結果

9月25日、十日町市笹山陸上競技場で、第6回十日町・川西町小学校親善陸上大会が開催されました。

※1位～10位までの上位3位を紹介します。ただし、10位までに町内小学校の入賞者がいた場合、それを含め上位3位とします。

5 年 男 子			5 年 女 子		
100 メートル			100 メートル		
①阿部駿平（東）	②島田亮太郎（川治）	⑨根津 元（上野）	⑤片桐知美（千手）	⑦引間美里（千手）	⑨小海彩乃（上野）
1500 メートル			800 メートル		
①島田亮太郎（川治）	②水落悠樹（十日町）	③宮沢大志（水沢）	①太田直子（鎧島）	⑦小海彩乃（上野）	⑨丸山夏織（千手）
走り幅跳び			走り幅跳び		
①小杉 誠（下条）	②岩田大祐（中条）	⑤根津 元（上野）	③田村鈴香（上野）	⑦片桐知美（千手）	⑨藤巻彩佳（橘）
走り高跳び			走り高跳び		
①吉楽和馬（川治）	②田頭拓磨（下条）	②南雲元貴（川治）	①丸山友美（馬場）	⑧井川理恵（上野）	⑨江口愛美（橘）
80 メートルハードル			80 メートルハードル		
①和田祐太（東）	②重野健志（東）	③桑原拓也（東）	①引間美里（千手）	②大熊ゆかり（中条）	③田口詩織（橘）
400 メートルリレー			400 メートルリレー		
①川治小	②下条小	③東小	①川治小	②東小	
			③千手小（丸山夏織、引間美里、喜多悠莉、片桐知美）		
6 年 男 子			6 年 女 子		
100 メートル			100 メートル		
①小川諒兵（上野）	②稲田 岳（千手）	③南雲 翔（下条）	①斎木芽依（川治）	②庭野彩香（西）	③田村友里（川治）
1500 メートル			800 メートル		
①斎木智裕（鎧島）	②酒井大介（吉田）	③柳 裕輝（吉田）	①保坂美紀（東）	②野上優花（鎧島）	③関口真夕（西）
走り幅跳び			走り幅跳び		
①小川諒兵（上野）	②稲田 岳（千手）	⑥沢口貴光（上野）	①樋口晴香（水沢）	②庭野彩香（西）	③中川 希（下条）
走り高跳び			走り高跳び		
①庭野幸広（水沢）	③星名勇佑（千手）	⑧川崎茂人（千手）	①味原愛美（十日町）	⑩酒井久美（千手）	⑩丸山菜都美（橘）
80 メートルハードル			80 メートルハードル		
⑧①南雲翔（下条）	⑤数藤拓哉（千手）	⑦中條和成（仙田）	①村山翔子（十日町）	②金井五月（中条）	③春日美晴（西）
400 メートルリレー			400 メートルリレー		
①上野小（田村圭祐、小川諒兵、丸山 巧、沢口貴光）			①川治小	②西小	③水沢小
②千手小（川崎茂人、星名勇佑、太田 渉、稲田 岳）			混成400メートルリレー		
③下条小			①東下組小	②六箇小	③八箇小

◆議会報告◆

九月十日から始まった第四回川西町議会定例会は、十九日に全日程を終え、閉会しました。

十日は、諸般の報告や、五人による町政に対する一般質問が行われたあと、川西町教育委員会委員の任命同意や川西町選挙管理委員の選挙などのほか、二件の請願が採択されました。

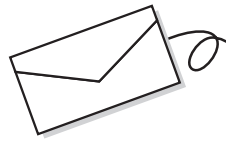
十八日は、平成十三年度川西町一般会計ほか六つの特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算が認定されました。



一般質問への答弁の様子

十九日は、「川西町乳児の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例」ほか六件の条例改正が原案どおり可決されたあと、「平成十四年度川西町一般会計補正予算（第二号）」ほか四つの特別会計補正予算が原案どおり可決され、二件の議案、五件の発議案などが可決されました。

お寄せください あなたの 意見・提案・質問



千手保育園も送迎して

(34歳・女性)

Q. 千手保育園の場合、「保護者が保育園まで送迎する」のが原則となっているが、保護者が道路の両側に駐車するので他の

修繕工事が進む千手保育園



迷惑になっている。

また冬期間は、危険な雪道を小さな子どもの手を引いて歩かなければならない。

保育園までの距離でなく、車の往来や歩道の整備状況などでバス送迎を決めてほしい。(バス送迎してほしい)

〈諸事情をお汲み取りください〉

A. 千手保育園は、本年度に大規模修繕工事を行うため、多くの方々にご不便をお掛けしているところですが、

三歳未満児については、町のマイクロバスで送迎しながら上野保育園で、三歳児以上については、千手小学校の北校舎一階を借りて、保育をさせていた

いております。千手保育園の未満児を上野保育園に送迎しているのは、千手保育園の工事という特殊事情があるためです。

現在、マイクロバスで送迎しているのは、上野保育園では、みのり団地と上野向山、元町、新町新田、小根岸方面。橘保育園では、木落、塩辛、原田、根深、それに大白倉、小白倉方面。仙田保育園では、室島、赤谷、岩瀬方面の園児たちです。

マイクロバスは町で運行していますが、送迎対象園児たちの保護者は、保育所通園母の会を組織し加入しています。会則も定められており、目的を「保育所から遠距離にある集落の保育園児をマイクロバスで通園させることによって交通事故やその他の危険から園児を守る」などとしています。会員は、現在月一、三〇〇円の会費を出し合い、添乗員の賃金などの経費に充てています。

千手保育園と南原保育園については、距離的にもあまり遠いところはなく、また、県道には歩道や信号機などの交通安全対策が比較的整っていることなどから、マイクロバスでの送迎はしていません。

千手地区の南部は、園児が歩くには長い距離ですが、ほとんどの方は、自家用車で送り迎え

されているかと存じます。交通事故は、細心の注意を払っていても、いつ、どこで起きるかわかりません。事故防止には、運転者も歩行者も交通ルールを守り、事故を起こさないよう、遭わないよう、お互いを気遣っていただきたいものです。

交通安全施設の整備は行政の責任ですが、子どもは保護者が守るのが原則ですのでよろしくお願いいたします。

徒歩でも、車での送り迎えでも、この時間は、親子、あるいは祖父母と孫とがいっしょにいるかけがえのない一時となります。

道すがら子どもにいろいろのことを話したり、教えることができます。その積み重ねが子どもの心の発達や、家族のきずなを深めることにもつながります。

千手保育園児のマイクロバスでの送迎は、いままですべてことや、運行経費などの面からも、現時点ではご期待に添えない事情をお汲み取りいただきたいと存じます。

なお、千手保育園前には若干の駐車場を本年度中に整備しますので、道路の両側駐車という不安の事柄は、いくぶん緩和されることとなります。

金色の雪

役場玄関脇のキンモクセイの花が満香です。

役場の職員

の誰よりも古

株ながら、ふ

だんは、ある

ことすら忘れ

られがちです

が、この時期

になると、甘

い香りをあた

りに漂わせて

存在感をアピールします。

役場の事務室にも流れ込んできて、事務的な雰囲気や和らげ

ホームアップ
役場 No.17



る一役を担ってくれています。

花は小さくて目立ちませんが、散った後、木の根元は金色の雪が積もったようになって、とても美しい世界になります。

このあたりも控えめなこの木(花)に似合っています。

職員もこうありたいものです。

です。

誰だ、トイレの(芳香剤の)匂いだなんて言っているのは!

平成十五年度

保育園入所申し込みの受け付け

*受付期間

十月十五日（火）～
十一月十五日（金）

*入所資格

川西町に住民登録があり、家庭で保育ができない児童。

*申し込み方法

役場住民福祉課及び各町立保育園に備え付けの「保育所入所申込書」に必要事項を記入し、必要書類を添付して役場住民福祉課福祉係へ提出してください。

*申込書添付書類

・「保育所入所児童家庭調査表」
・入所希望の理由が「疾病・負傷・病人の介護」などとなる方は、医師の診断書が必要となります。

*注意事項

・心身の障害などで団体生活ができない児童については、入所できないことがあります。
・家庭内に入所を希望する児童が二人以上いるときは、児童ごとに申し込みください。
・引き続き入所を希望する児童で、入所申し込み時に「保育の

実施を希望する期間」を就学前までとした児童については、新たに申し込みの必要はありません。「保育所入所児童家庭調査表」のみ、在園の保育園へ提出してください。

※家庭状況をお尋ねしますの
で、申込書はご家族の方が持参してください。

十五年度から始まる 新しい保育サービス

現在改修中の千手保育園では、平成十五年度から次のサービスを新たに開始します。千手地区以外の児童でも入所可能ですので、お気軽にお申し込みください。

【乳児保育】

産休明け（生後二か月）の乳児から保育園で預かりできるようにします。出産前でも申し込み可能です。定員は六人です。でお早めにお申し込みください。

【延長保育】

保育園を十二時間（午前七時～午後七時 予定）開設して、お子さんをお預かりできるようになります。（間食費等の保護者負担があります。）

【一時保育】

冠婚葬祭・急な疾病・不定期なパート勤務・育児疲れなどの

とき、一時的にお子さんを保育園でお預かりできるようにします。（保護者負担があります。）

*お問い合わせ先

役場住民福祉課福祉係

（☎68-3111内201）

*保育所一覧

施設名	定員	開設時間	受入年齢	通常保育以外の保育サービス等
千手保育園	100名	7:00～19:00 (予定)	2か月から	乳児・延長・一時・学童・障害児保育 施設開放・育児相談
上野保育園	60名	7:30～18:00	10か月から	障害児保育・施設開放・育児相談
橘 保育園	80名	7:30～18:00	10か月から	障害児保育・施設開放・育児相談
仙田保育園	30名	7:30～18:00	10か月から	障害児保育・施設開放・育児相談
計	270名			

だんだんどーも！ ⑭

「なごみの家分場かわにし」の巻

「糸の色は自分で選んでいます。楽しいですよ。ひとつのものを一週間くらいかけてじっくり作りあげるの、

そんな大変じゃないです」。

刺し子のふきんづくりに取り組む樋熊美佐子さん（十日町市）

は、「森の中で果物をとっている子どもたち」の図柄を刺繍しながら、目を輝かせてそういいました。

知的障害者授産施設「なごみの家分場かわにし」には、川西町、十日町市、中里村から現在十九人の利用者が通っています。

ここの作業は、絵柄入りの刺し子のふきんづくりのほか、絹のマフラーやショールなどの手芸品づくり、プランターやおもちゃなどの木工品づくり、廃



油石けんづくり、花の苗づくりや花壇管理などの園芸作業など多岐にわたっています。また、町内の製麺工場での箱折り作業も請負っており、実社会とのつながりの場ともなっています。汽車のおもちゃ（木製）の面取り作業をしていた柄沢春満さん（沖立）は、

「この作業は簡単ですが、車体に車輪を取り付けるのが少し難しいです。そばの箱折り作業が一番好きです」と、作業の手を休めずに感想を話してくれました。

「みんな、ここに来てお互いを認め合いながら生き生きと過ごしています。外部の人が来てくれるのを楽しみにしていますので、いろんな人からおいでいただきたいですね」と語る職員員の保坂隆史さん（39・南台）のことは、うなずく利用者の笑顔が印象的でした。

催し

第三十三回中魚沼郡・十日町市錦鯉品評会

毎年川西町から多くの錦鯉が出品され、優秀な成績を収めています。当日は即売も行っています。ぜひお出かけください。

■日時 十月十九日（土）

■会場 クロス10

■出品鯉の搬入及び受付 午前八時半～十時

■一般公開 正午～午後三時

■問い合わせ 農林課振興係

（☎68-3111内線332）

教室・講座

水中運動体験教室

みなさんは健康づくりのために運動をしていますか？「運動はあまり…」という方、陸上とは違った満足感や爽快さを体験できるはずです。ぜひ一度水中運動をお試ください！

■日時 十月二十四日（木）

■対象 上野・橘地区にお住まいの方。年齢・性別は問いません。

※他の地区は、後日開催します。

■会場 十日町ベルナティオ

■交通手段等 送迎バスを運行します。

◎送迎バス時刻表

8:30	三領バス停
8:35	木落構造改善センター
8:40	寺ヶ崎公民館
8:45	橘地区農事研修センター
8:50	高齢者コミセン
9:00	新町ふれあいセンター
9:05	元町集落センター
9:10	上野小学校
9:20	川西町役場

■参加費 一、〇〇〇円

■用意する物 水着、キャップ

※会場まで水着五〇〇円、キャップ無料で借用可能

■定員 三〇人程度

■申し込み 十月三十一日（月）

までに、申込先へ直接または電話でお申し込みください。

※対象地区の参加者数が定員に満たない場合は、他の地区の方

も参加可能ですので、開催日前

日までにお問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ 保健

課健康推進係（☎68-3111

1内線235）

運転者講習会のお知らせ

町交通安全協会では、次のとおり運転者講習会を行います。

■期日・場所

十月三十一日（月）千手小学校

二十二日（火）JA十日町
上野支所
二十三日（水）橘小学校
二十四日（木）仙田小学校
■時間 午後六時半受付開始

新潟連携公開講座

■期日 ①十月十三日（日）

②十一月十日（日）

③十一月十六日（土）

■会場 十日町情報館

■時間 午後一時半～

■演題／講師 ①まちづくり・

市民参加・新技術／長岡造形大

学教授 若月忠信氏②市町村合

併の課題と展望／新潟産業大学

助教授 出井信夫氏③身近な環

境問題を考える／大気汚染編

【企画講座】／新潟工業短期大

学教授 向井恒三郎、県森林研

究所、新潟市環境対策課

募集

十日町ステージ越後妻有交流館

楽市楽座（仮称）定期市の

出店希望者を募集します

十日町市では、平成十五年七月（予定）から十日町ステージ越後妻有交流館で定期市の開催を計画しています。出店希望者を募集しますので、ふるってご

応募ください。

■開催日 四月から十一月の第

二・四日曜日

■時間 午前十時～午後四時

■場所 十日町ステージ「越後

妻有交流館」回廊一階

■開催形態 フリーマーケット

形態の定期市

■申込方法 十日町ステージ準

備室に備え付けの所定の用紙に

必要事項を記入し、申込先に十

月三十一日（木）までに提出し

てください。

■申し込み・問い合わせ 十日

町ステージ準備室（クロス10四

階☎57-3111内線597）

県立テクノスクール 訓練生募集

県立テクノスクールでは、次のとおり平成十五年度生を募集します。

■募集校／募集科名

◎十日町テクノスクール／織布

科◎魚沼テクノスクール／電気

施設科、建築科、左官科

■対象者

◎織布科・電気施設科／高等学

校以上を卒業した者◎建築科・

左官科／中学校又は高等学校以

上を卒業した者

■募集期間

十月十六日（水）～三十日（水）

■選考日

十一月十三日（水）
■問い合わせ 十日町テクノス
クール（☎57-11105）、
魚沼テクノスクール（☎025
79-4-2410）

わが家のごみダイエ ット作戦参加者募集

みなさんも買い物の仕方を工夫して、自宅のごみの減量に取り組んでみませんか。

■内容 自宅のごみを減らすた

めの作戦と実践結果の報告、実

践行動に基づくごみ減量のため

の「我が家の提言」の提出

※作成報告者には達成証を交

付。また、「提言」の優秀者には

旅行券などを贈呈します。

■申込期限 十月三十一日（木）

■参加資格 県内にお住まいの方（世帯単位での参加）

■作戦実施期間 十一月十八日

（月）～十一月十五日（日）

■申し込み 役場環境整備課環

境衛生係に備え付けの申込書に

必要事項を記入し、次までお申

し込みください。

■申し込み・問い合わせ 新潟

県県民生活課内 我が家のごみ

ダイエット作戦係（☎025-280-5135）

その他

焼却炉（小型を含む）の構造基準が強化されます！

焼却炉の大きさに関係なく廃棄物を焼却する全ての焼却炉の構造基準が平成十四年十二月一日から強化されます。構造基準に適合しない焼却炉での廃棄物の焼却行為は野焼きに該当し罰則がかかることがあります。

スプレー缶は穴を開けて出しましょう

ごみ収集作業中に発火事故が発生しています。スプレー缶はよく中身を使いきり、釘などで穴を開け缶内のガスを完全に抜いてから、資源物の鉄・アルミ類の日に出してください。

なお、その他の資源物を出す時も、収集カレンダーやごみ便利帳を良く見て間違えのないように分別して「ラベル・汚れなどをとって」きれいにしてお出しください。

みなでルールを守ってごみを出しましょう。

■問い合わせ 環境整備課 環境衛生係（☎68-3111 内線104）

大倉トンネル全面通行止のお知らせ

十月十五日（火）から二十七日（土）（土・日・祝日は除く）、雪寒地域道路（国道防雪）工事のため、大倉トンネルが全面通行止になります。

時間規制は次のとおりです。

通行止時間帯

- ① 午前八時半～正午
- ② 午後一時～午後五時

通行時間帯

- ① 正午～午後一時
- ② 午後五時～午前八時

■問い合わせ 建設課維持係（☎68-3111 内線322）

雇用保険制度が変わりました！

現在の雇用失業情勢や雇用保険財政の状況を考慮し、「労働保険の保険料の徴収等に関する法律」の規定により、平成十四年十月一日から次とおり変更となりました。

①雇用保険料率を一、〇〇〇分の二引き上げます

一、〇〇〇分の二の引き上げ分は、事業主の方、被保険者の方、それぞれ一、〇〇〇分の一ずつの負担となります。

事業主の皆さまにおかれましては、十月以降給与から控除する際には十分にご注意ください。

②保険料の追加徴収を行います

各個別事業主の皆さまへは、十二月中旬に郵送により納付していた金額をお知らせし、平成十五年一月三十一日までに納付していただくことになる予定です。

■問い合わせ 十日町労働基準監督署（☎52-2079）または、ハローワーク十日町（☎57-2407）

小規模企業倒産防止共済制度をご存知ですか？

この制度は、小規模企業の事業主や個人事業主のための退職金制度です。

■加入資格 従業員二十人以下（商業・サービス業は五人以下）の小規模事業者

■掛金 一、〇〇〇円／

七〇、〇〇〇円

■共済金の支払い 加入後六か月以降に、個人事業の廃止などにより、掛金の納付月数に応じた額が支払われる。

■問い合わせ・加入申込先 西町商工会（☎68-2176）

※この他に、中小企業倒産防止共済制度があります。

買い物は買い物袋持参で

十月は「マイバックキャンペーン」期間です。買い物に出かけるときは、買い物袋など持参

するようにしましょう。スーパーなどでレジ袋をもらわずに、持参した袋を使うことで資源の節約やごみの減量につながります。

また、無駄な包装は断り、ばら売りや詰め替え商品など簡易な包装の商品や古紙などを使った環境にやさしい商品の購入に努めましょう。

十月は「高齢者雇用促進月間」です

◎これからは生涯現役。なぜ年齢を気にするの？

◎募集・採用は年齢にかかわらず行うよう努めましょう

◎定年の引き上げ、継続雇用制度の導入により、希望する人みんなが六十五歳まで働き続けることができる環境を整備しましょう。

大切にしていますか！あなたのからだ

（毎月第二月曜日は、「過労死等相談日です」）

仕事の疲れやストレスからくる「過労死」や「精神障害」の認定のこと、その他労災補償全般についての無料相談を実施しています。

■日時 毎月第二月曜日 午前十時～午後四時
■場所 財労災年金福祉協会新

湯労災年金相談室（フリーダイヤル ☎0120-603-114）

えっ！

最低賃金しらないの？

（今回から地域別最低賃金は時間額のみとなりました）

最低賃金額の表示単位は従来、日額・時間額の併用方式をとっていましたが、平成十四年九月三十日より「時間額単独表示方式」に変更されます。（表参照）

新潟県最低賃金		改正前	改正後
時間額	最低賃金額	641 円	641 円(据置)
日 額	最低賃金額	5,124 円	表示しない

（と比較することになります。）

農業者のみなさんへ
無登録農薬は絶対に購入・使用しないように
しましょう！

あなたの話題

わたしのレース



ジャパンエンデューロ in 川西 いよいよ開催!



十月十二日(土)

- 川西町役場前 午前八時頃
- 庚塚運動公園付近 午前九時頃
- 室島・高倉・小脇 午前十時半頃
- 道の駅瀬替えの郷 せんだ

午前十一時頃

- 赤谷 午後十二時頃
- 白倉 午後十二時半頃

- 川西ダム及び基幹林道付近 午後一時頃

- 鶴吉・霜条 午後一時十五分頃

- 川西町役場 午後二時頃

- 川西町役場横駐車場

競技車輛の保管展示

十月十三日(日)

- 川西町役場前 午前七時三十分

- 長福寺沢ダム付近 午前八時頃

- 庚塚運動公園付近

午前八時三十分頃

- 岩瀬 午前九時三十分頃

- 木落河川敷付近 午前十時頃

- 沖立河川敷付近 午前十一時頃

ます。二輪車に関する安全マナーも含めて、単にスピードを争う競技ではなく、ライダーとしての総合的な評価を競う国際競技大会となります。

また海外からも選手が出場する予定です。

同時開催として自転車(MTB)を使った競技会も開催します。

ので、町民の皆さんもぜひ選手達に熱い声援をお送りください。

競技車輛が通過します地区はおおむね次のように計画しています。

● お問い合わせ先

ジャパンエンデューロ事務局
内山 (☎68-4655)

ホームページアドレス

<http://www.japan-enduro.com/>

あなたは「薬」と どのようにつきあっていますか?

十月十七日(木)から二十三日(水)までの一週間は、「薬と健康の週間」です。この機会に、薬の使用方法などについて振り返ってみましょう。

● 正しい飲み時間を守りましょう。

● 食直前…食事のすぐ前に

● 食前…食事の約三〇分前

● 食後…食事の約三〇分後

● 食直後…食事の後すぐに

● 食間…食事の約二時間あと

● 就寝前…眠る約三〇分前

● 頓服薬…医師や薬剤師の説明にしたがって飲んで下さい。

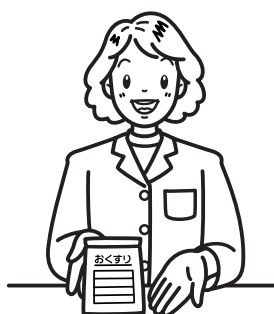
● 作用・副作用など、様々な性質があるため、使用にあたっては医師・薬剤師等に相談しましょう。

● 使用時期、使用量、使用方法などを守り、使用上の注意を十分に参照して使用しましょう。特に高齢者の方は、肝・腎機能低下のため副作用が起こりやすく、また複数の診療科受診による重複投与、相互作用又は記憶力・注意力低下による誤用等の問題点があります。

● 光、熱、湿気などによって品質の低下を招くことがあるので一定の状態で保存しましょう。

● 子供の手の届く所へ置かない

● 不注意な取り扱いをしない



*朝食を摂らない、食事回数減らしている、食事制限がある等の方や、薬を飲み忘れた時などは医師・薬剤師にご相談ください。
薬と上手に付き合って、自己の健康管理をしていきましょう。

善意

(敬称略)

高橋 優輝
五十嵐 優斗
美良 幸征
清 恵子
山 坪
山 口



かわに俳壇

高崎正風選

大根蒔きやや早けれどよき湿り
上町 高橋 願似
大夕焼火の粉のごとく舞ふ鴉
めつきりと秋七草の減りにけり
新町新田 若山 向山

千年の湯に稲刈の疲れとる
笑み栗のこぼれ落ちそう崖の上
小白倉 田中 優美

雷鳴の遠のき行きて葱きざむ
秋雨や夫命日の稲荷寿司
田中町 石澤 澄代

風景がまつ赤に燃えて鶏頭花
映画館出て暮れていし秋の雨
野口 村越 由喜

絶壁を行くゴンドラや秋高し
盆の月上げて踊の輪を重ね
岩瀬 登坂伊智子

古簾捨てんと決めつ固く巻き
稲刈れば釣瓶落しの越路かな
練馬区 須藤 遊人

稲刈りのすめば落付く雨の音
鼻歌も出て菜を間引く日和かな
小白倉 江口みゆき

句碑公園問わず語りや秋気澄む
聯芳塔起点の遊歩道さやか
霜条 星名 星光

英霊と書く手も老ひぬ流灯会

仙田体験交流館の雪室に空けられた穴は最初一体どうやって空けられたのか…

実は、天井に取り付けられたパイプの穴から水を滴らせて穴をあけたのです。だから規則的に穴が空いていたんですね。そこに空気を通すことで穴がどんどん大きくなって蜂の巣のようになったというわけです。

少し難しかったのでしょうか、残念ながら正解者はありませんでした。来月号でまたクイズを出します。

高砂—ご円満に

福社に 清水 信一 (中屋敷) 五万円
滋野 正治 (野口) 五万円
野沢 ヤイ (野口) 五万円
平野 勝也 (四郎兼) 十万円
一般 谷サチ子 (中央町) 絵画一

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

中条 ミト 77 (歳二) 大倉
数藤 キユト 86 (敦子) 栄
丸山 スミ 84 (徳助) 根
野澤 ハツエ 85 (岩夫) 野口

うぶ声—おすこやかに

村越 玲奈 香俊奈 野口

(9月1日) 30日届け出順

和張 順俊 華英 中国 仁田

野子 静 中国 仁田

二瓶 智美 五泉市 中仙田

山羽 本美 雪馬 十日町市

稲村 満里 柏崎市

中条 聡 岩瀬

志田 早希 塩沢町

吉楽 尚生 中央町

山宮 愛 白根市

山家 和稔 木落

休日救急医

10月20日 たかき医院 (十日町市土市第5) ☎58-2361
上村病院 (中里村田沢) ☎63-2111
27日 本町クリニック (十日町市本町3) ☎50-1160
11月3日 小林内科医院 (十日町市中条中町) ☎52-7155
4日 石川医院 (津南町上郷宮野原) ☎66-2061
中条病院 (十日町市北原) ☎57-3018
10日 富田医院 (川西町発電所通西) ☎61-0200

■表紙の写真

9月15日に開催された「ネットかわにし交流事業・奈良県川西町民劇団コスモスによる演劇『ぼたん雪』」での、奈良県・新潟県のスタッフ・出演者一同です。

今まで行ったこともなければ、もちろん話したこともない町の住民同士が、「同じ町名」という縁で、相互訪問して演劇公演や異文化体験をする。ことばで書いてしまえば簡単なことですが、実際には、綿密な計画と連絡調整など多くの人たちの共通認識と協力がなければ実現しません。

写真には「奈良の顔」も「新潟の顔」ありません。ただ、「同じ思い」を持った住民たちの顔がそこにあります。

?クイズの答えです?

仙田体験交流館の雪室に空けられた穴は最初一体どうやって空けられたのか…

実は、天井に取り付けられたパイプの穴から水を滴らせて穴をあけたのです。だから規則的に穴が空いていたんですね。そこに空気を通すことで穴がどんどん大きくなって蜂の巣のようになったというわけです。

少し難しかったのでしょうか、残念ながら正解者はありませんでした。来月号でまたクイズを出します。

和解して畳むハンカチ丁寧に 点々と離村の更地草茂る 中屋敷 金子 鉄平

秋晴れや静かに豆のはぜる音 秋風や鳴戸の渦の行きどころ 元町 田畑 吉治

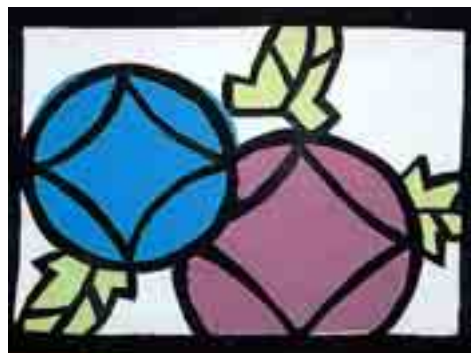
新涼や信濃越後と川沿いに コスモスの揺れる近径道祖神 足立区 涌井ハル子

蠅螂の鎌に戦く蝗かな 日和から生れる如く赤とんぼ 大倉 中條 石平

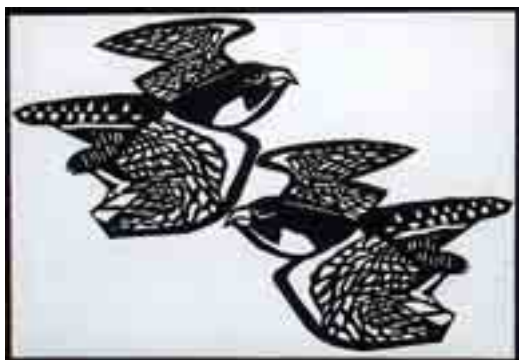
夕立の来て遠足の列乱れ 本伏せて窓に來し蟬聞きにけり 野口 高橋 波京

残暑にも負けじと競い庭の花 初刈りのままに無情の秋の雨 霜条 蔵品ハツエ

物干しの竿に並んで赤とんぼ 秋灯下余生楽しむ読書かな 八王子市 松浦 サク



▶ 切り絵「朝顔」
5年生 片桐知美さん



▶ 切り絵「ハヤブサ」
5年生 川崎孝幸くん



▶ 「タカを見つけたときは思わずシャッターを切った」
6年生 黒嶋拓人くん



▶ 「海の生きものたち」
3年生 宮 優子さん



▶ 「夏の山の風景」
4年生 佐藤理奈さん



▶ 「カラフルロボ」
2年生 星名俊昌くん



▶ 「トトロの夏休み
(花火の夜)」
1年生 小川瑠美さん

(11月号は上野小学校です)

ふきふきの花火

花火は、祭りやイベント、記念行事に欠かせないもので、夏の風物詩ともいわれる。
以前は、花火といえば商店や事業所の協賛がほとんどだったが、最近は職場単位や地域、個人で上げる例が増えている。



漆黒の夜空を背景に、腹に響く炸裂音とともに、色とりどりの火の花が一瞬またいたですぐに闇に溶け込んでいく。その刹那性に誰もがひきこまれる。まして、自分が「上げた」花火ならなおさらだ。花火のいいところは、上げた本人だけでなく地域みんなで楽しめるところだ。だから、毎年、「大枚」をはたいても「燃える」人がいる。
この秋、そんな燃える思いのおかげで、また花火を堪能することができる。十月二十六日、仙田農村公園「河童の吊り橋」渡り初めの夜だ。

㊦

